不登校についての経験（保護者用）
不登校の時期：　　中２　　　　不登校の期間：半年

１　不登校になったきっかけを教えてください。
　鬱病の為

２　学校に行かないときは、子供はどのように過ごしていましたか。
　病気が良くなっていない時は塞ぎ込んでいました。良くなってからはテレビを見たり、ゲームをしたり、犬の散歩に行ったりしていました。

３　その時の気持ちや考えていたことを教えてください。
　まずは病気の症状の改善を望んでいました。とても辛そうにしていたので親も辛かったです。

４　子供に対し、どのように関わったり、声掛けをしたりしていたか教えてください。
　まずは学校に行けなくなってしまったことは悪い事ではない。心身共に元気になる為に必要な事。勉強はいつでも出来る。正々堂々と休んでいい。と声をかけていました。

５　学校に行かなくなった当初から今に至るまで、子供や保護者の変化として感じたことを教えてください。
　娘は良い意味で本当の自分自身を知ったと思います。うちに限っては本当に必要な時間だったと感じます。私達親は娘が元気になってからは娘自身が変わったので安心して手放す事ができ、今後は自分の判断で行動できると確信を持てました。

６　子供にしてよかったこと、やらなければよかったことを教えてください。
　具合が悪い時はひたすら寄り添えた事は良かったと思います。どこまでやって良いか、やらない方が良いか、悩む事もありましたが、色々考えた結果自分自身が後悔しないようにしようと決心し、過保護かもしれない事でもやりたい事はやり尽くしたのでやらなければ良かったと思う事はないです。

７　不安を感じたとき、どのようなことをしていたか、教えてください。
　身近な人にどうしたら良いか助言を求めていました。

８　学校に行かなかったことについて、今感じていることや考えていることを教えてください。
　学校に行かない時期があったっていい。

９　学校に行っていない人や行かない人に対してのメッセージをお願いします。
　その子一人一人に学校へ行かない、行けない理由があると思います。一概には言えませんが、子供自身に立ち直る能力は元々備わっていると思います。保護者はその手助けだったり肯定だったり、その子自身を受け入れていれば良いのだと思います。勉強するもしないも自分次第。良い意味で子供からの自立を出来てからは（親が）とっても気が楽になりました。